

九州大学創立百周年記念

九大フィルハーモニー・オーケストラ

第186回定期演奏会

平成23年6月29日(水)、アクロス福岡シンフォニーホールにおいて、九州大学創立百周年記念九大フィルハーモニー・オーケストラの第186回定期演奏会が開催され、ブラームス作曲「大学祝典序曲」、ベートーヴェン作曲「交響曲第九番(通称「第九」)(合唱付き)」の2曲が演奏されました。九大フィルは1909年に創立された、日本最古のアマチュアオーケストラであり、1924年に日本人として初めて第九を演奏したことが知られています。

今回の定期演奏会は、本学の創立百周年を記念し、かつ、3月11日に発生した東日本大震災からの早期復興を祈りたいという団員の想いのもと、本学合唱サークルの学生を中心に約100名の合唱団を結成し、長年九大フィルを指導してきた堤俊作氏を指揮に、現在活躍中の若手の声楽家をソリストとして迎えて、九大フィルとしては約10年振りとなる第九の披露となりました。

明るく力強い楽曲である大学祝典序曲で幕を開けた定期演奏会。2曲目に迎えた第九のステージ



では、九大フィルの優美かつ壮大な演奏に、後半から合唱も加わり、繊細さ、楽しさ、壮大さと緩急繰り返す演奏が披露され、ホールを埋め尽くした観客を魅了しました。楽曲を締めくくる荘厳なハーモニーが鳴り響き、指揮棒が降りたと同時に、会場は止むことのない大きな拍手喝采に包まれました。

ソリスト

ソプラノ／首藤 玲奈  
アルト／小泉 詠子  
テナー／古橋 郷平  
バリトン／森 寿美

合唱団

九州大学男声合唱団  
九州大学女声合唱団  
RKB女声合唱団  
コーラルアカデミー

